

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

平成29年9月号

編 集

発 行 人

武田 隆久

〒102-8414 東京都千代田区三番町9-15

一般社団法人 日本病院会 通信教育課

TEL 03-5215-6647 (受講生専用)

FAX 03-5215-6648 (受講生専用)

URL <http://www.jha-e.com/>

受付時間

9:00~17:00
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)

発行日

毎月1日

定 価

1部 150円 1カ年1,600円(税込・送料込)

郵便振替

00190-5-396045

名 義

一般社団法人 日本病院会 通信教育部

ますます重要性が増す診療情報管理

村中 光

国立病院機構九州医療センター 院長

我が国の医療はこれまで世界に類を見ない優れたものとして評価されてきましたが、その理由は安価な診療費で誰でもがいつでも希望の医療施設へ受診可能であり、医療水準の格差は少なくまた先端医療も広く普及しているにもかかわらず国民医療費が極めて低水準であることにありました。しかし国民皆保険制度の代表格である英国のような、かかりつけ医による医療必要度のチェック、総量抑制のための制限医療、病院総数のコントロールなどの制度もなく、医療をビジネスととらえる米国のようなサービス提供をおこなってきた結果、総医療費は増加の一途をたどり対国民総生産比はついに昨年世界第2位になりました。その上いまだ経験したことない高齢化社会の到来と人口減少が確実であり、状況変化に即した体制変換が必要な局面をむかえています。そこで国は大胆な構造改革にのりだしました。

その骨子は急性期医療市場の急激な縮小にそなえ過剰供給となっている急性期病床を縮減し、回復期、慢性期病床への転換とともにそれぞれの施設の役割の明瞭化と機能の集約化、さらに医療と福祉のすみわけとともに高齢者医療のみなおし、地域一体となった高齢者の社会的受け入れ態勢の充実です。これにより膨らみ続ける医療・福祉費の適正化を図り持続可能な医療サービス体制をめざすものです。この改革には相当な困難をとまなうことは自明の理ですが、もし実現されなければ我が国の医療は崩壊する危険性があり、我々は相当の危機意識をもち立ち向かわなければなりません。

そのためにはまずは自院の機能と地域ニーズとの整合性、内部にあっては時間の使い方、業務分担、物流、情報共有などすべてが効率よく付加価値の高い業務に集約されているかなどの詳細な検証と分析が不可欠であり、情報管理体制の充実とその専門職である診療情報管理士の充実とそのスキルが施設の今後の命運を左右すると言っても過言ではない状況になってきています。ただ診療情報管理士の主な業務内容には診療録の物理的内容の精査ならびに監査を行う「物の管理」診療情報をコーディングしデータベース構築をする「情報管理」、構築されたデータベースから必要な情報を抽出、加工、分析する「情報活用」がありますが、現状では前二項の業務に終始し、情報の活用といった部分まで踏み込むにいたっていないのも現実です。研修システムやキャリアパスなどを含めた診療情報管理士が真のプロ集団として安定して活躍できる体制整備が、日本の医療の今後にとって急務であると考えます。

